

助け合いを広めるための 全市的な地域づくりに向けて

生活支援コーディネーター連絡会 丸藤 競

生活支援コーディネーター連絡会

平成30年7月発足（これまで8回開催）

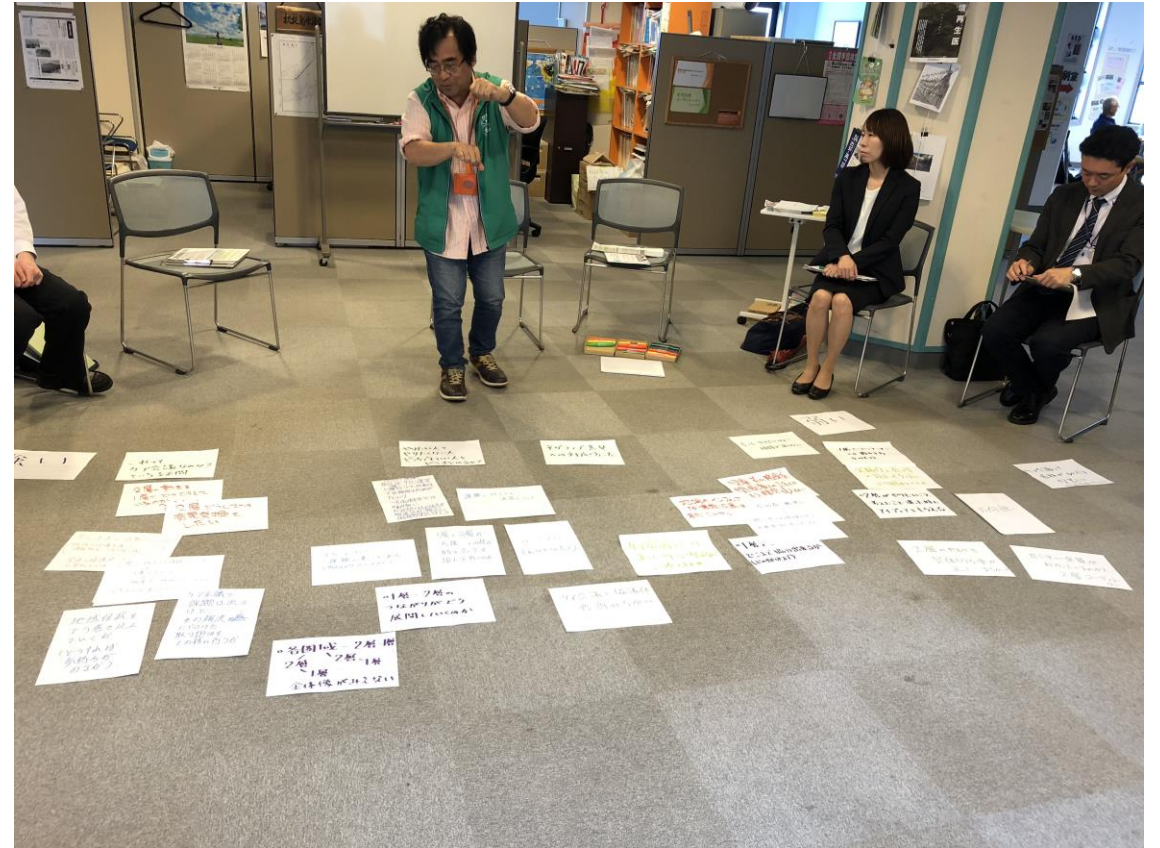
1層・2層生活支援コーディネーターと市が参加（会場：まちセン）

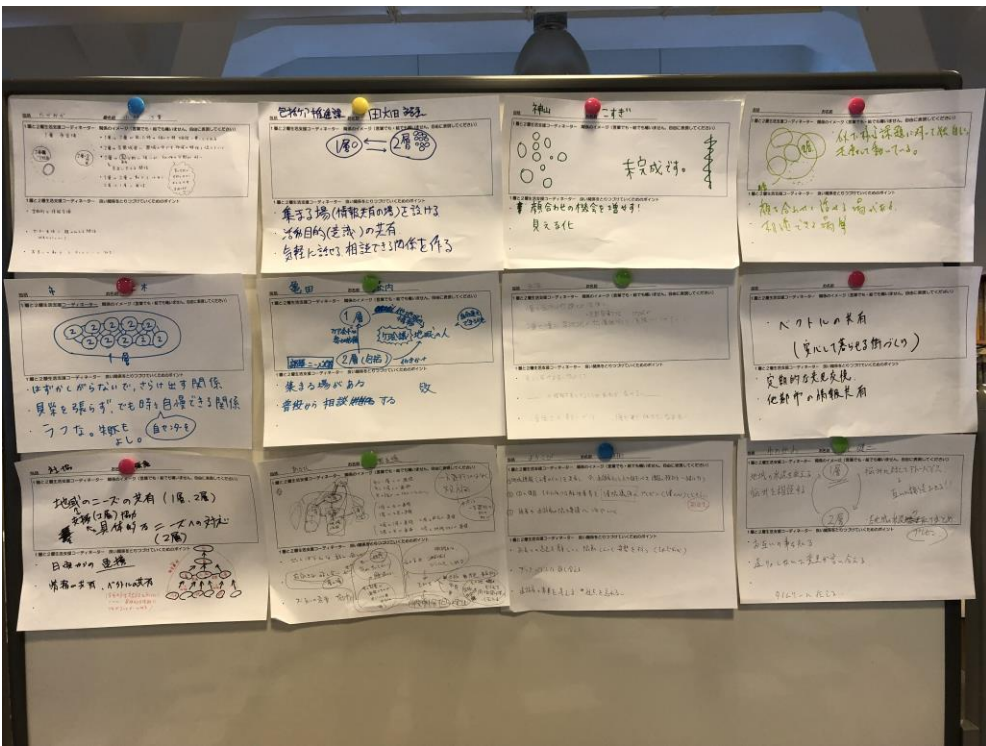
<内容>

- ・生活支援コーディネーターや協議体の役割について確認
- ・情報共有
- ・お悩み相談
- ・1層協議体で協議してもらいたい全市的な課題の検討 など

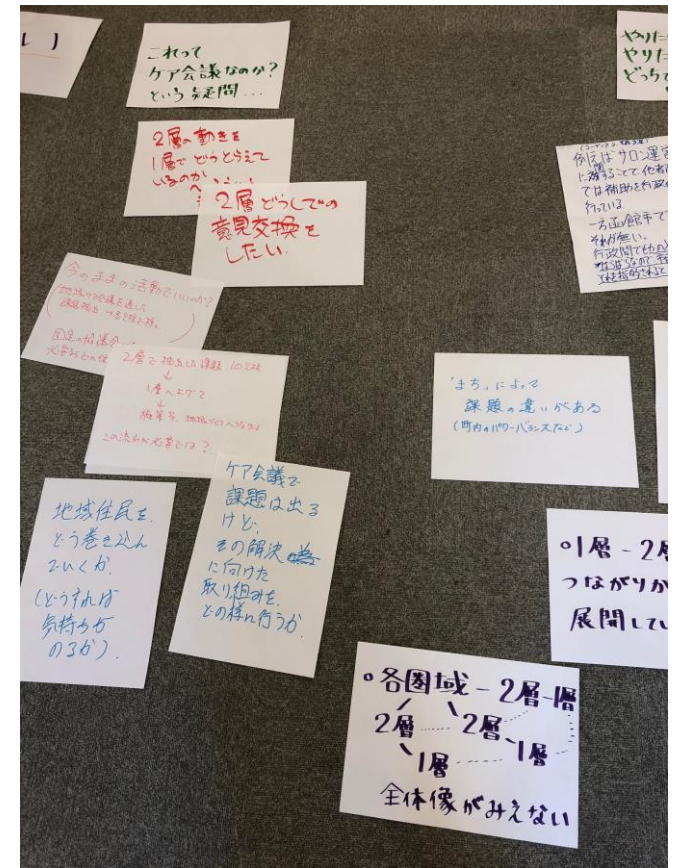
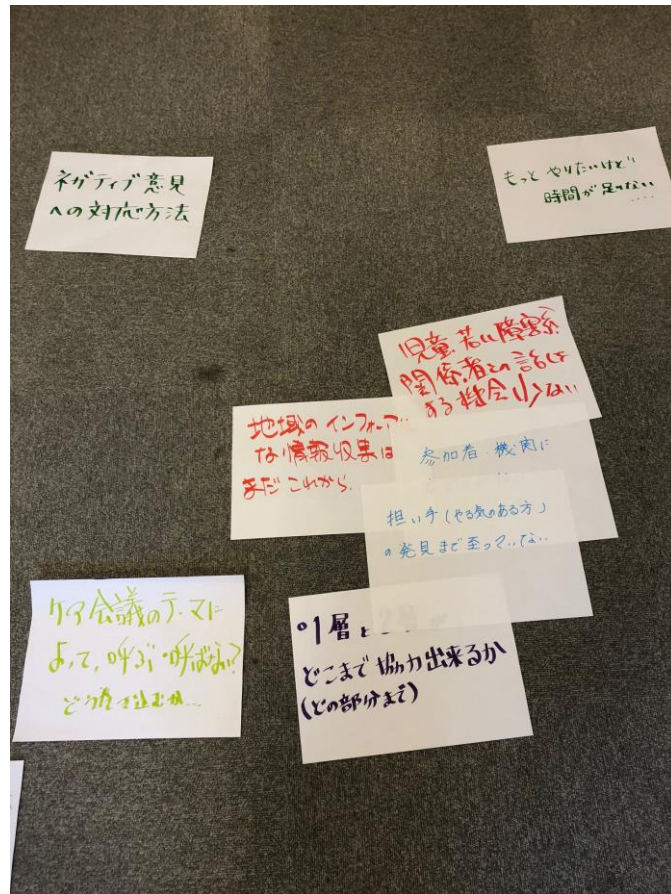


円陣をくんで、意見などを出し合っています





毎回、たくさんの意見が交わされます

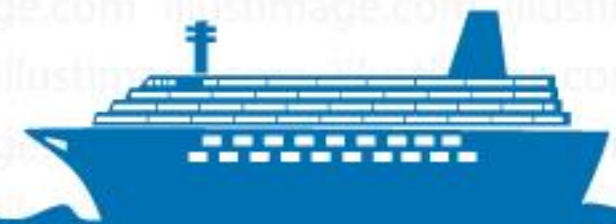


1層SC → 操舵室で、船全体を目的地へ導く

2層SC → 客室で、心地よい旅をつくりだす

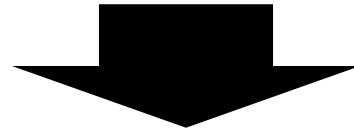
協議体 → SCのブレーン

**行政 → 安全な航海のため海図や天気図などを備える
エンジン、スクリューなど船の調子を守る**



ひとつのチームとして、理想を目指す

**2層生活支援コーディネーター・協議体だけでは、
解決できない
全市的な課題がある・・・**



1層協議体の皆さんの力が必要！

**仕組み・体制づくり
連携・協力の必要性
など**



提言等

アイデア・アドバイス

① 高齢者の移動手段の確保

高齢者を中心に、誰もが生活に必要なところに行けるようになるための移動手段についての仕組みづくり。

② 雪かき支援の体制づくり

誰でもいつでも住みやすい地域を実現するため、雪かき支援の体制をつくりあげる。

③地域の人たちの認知症や助け合いに関する知識を高め、意識醸成をしていく。

学校との連携を深め、認知症等に関する授業等を通し知識向上を目指す。

高い

実現可能性

低い

低い

効果

高い

**優先順位を考えていただき、
検討していただきたいと思います！**